

平成27年度 第1回 新宿駅周辺地域都市再生緊急整備協議会
都市再生安全確保計画部会 東口周辺地域分科会
議事概要

平成27年12月16日（水）10時～12時
新宿区役所 5階 大会議室

■出席者（委員）

松本委員代理（東京都都市整備局）、堀内委員代理（東京都都市整備局）、香月委員代理（東京都総務局）、園田委員代理（東京都交通局）、松田分科会長（新宿区）、坂牧委員代理（警視庁四谷警察署）、菅委員（東京消防庁新宿消防署）、和田委員（東京消防庁四谷消防署）、久田委員（（学）工学院大学）、日下田委員（新宿サブナード（株））、持田委員（（株）スタジオアルタ）、太田委員（東宝（株））、石川委員（（株）丸井）、森委員（（株）三越伊勢丹HD）、澤谷委員代理（（株）ルミネ）、石上委員（小田急電鉄（株））、平田委員（京王電鉄（株））、藤野委員（西武鉄道（株））、廣瀬委員代理（東日本旅客鉄道（株））、中里委員（東日本旅客鉄道（株））、土橋委員代理（（株）ドコモCS）、上田委員（東京電力（株））、城委員（歌舞伎町商店街振興組合）、濱中委員（新宿駅前商店街振興組合）、瀬野委員代理（新宿大通商店街振興組合）、蓮實委員（新宿東口商店街振興組合）

■議事概要

はじめに

- ・会則第7条 第2項の規定を満たし、本分科会が成立したことが確認された。

（1）新宿駅周辺地域における防災対策の取り組みについて

①新宿駅周辺における地域連携訓練の結果と今後の対応について

- ・事務局から平成27年度 新宿駅周辺地域地震防災訓練結果について説明があった。

②新宿駅周辺地域都市再生安全確保計画等を踏まえた行動計画の見直しについて

- ・新宿御苑管理事務所岩田次長より、東日本大震災の際に多数避難してきた帰宅困難者への対応について、紹介があった。

- ・3.11の際にトイレに対するトラブル等は発生していなかったか。現実的な課題として、男性などトイレではなく、そのあたりで用を足すなどの問題があったかと思うが、実際はどうだったか教えて欲しい。（新宿東口商店街振興組合）

→3.11に限らず、花見の季節などトイレが足りず、仮設トイレを使っている。したがって、発災のときもトイレは足りず、簡易トイレや使い捨てトイレなどを用意しなければいけないのではないかとということで、区と相談している。

トイレのトラブルについても、下水が止まり使えなくなったといったトラブルはなかった。上水が止まった場合、雨水をためて使っているトイレも若干あるので、何かあった場合そちらに案内することがよいのではなかという話はでている。

また、外で用を足す男性も目撃しているが、数としてどれぐらいあったかは把握してい

ない。ただし、3.11のときはさほど多くなかったと思う。ただし、トイレは絶対数としては足りないだろうという話は常に出ている。(新宿御苑)

(2)【ワークショップ】災害時に駅周辺の滞在者へ地域としてどのように対応すべきか

■各班の発表概要

(1班)

- ・ 平時からサイン表示をする。
- ・ 平常時からまちの説明図（地図）等を設置する。
- ・ 避難に関して、駅に地図を設置して、元気な方には移動してもらう。また、区の職員と駅員が協力して避難誘導する。
- ・ どのような情報を流すのか、メッセージの統一が必要である。
- ・ 災害時は区の防災放送を利用する。
- ・ 情報収集する際のセキュリティをどうするか。一般の方への放送を東口現地本部で実施してよいのか。
- ・ 必ずしも避難誘導する必要はないのではないのか。店舗内の方が安全な場合もある。ただし建物の安全確認が必要となる。
- ・ 避難場所を声や館内放送で案内する。また、ビル内の方はビル内に滞在させる。
- ・ 新宿Wi-Fiを活用し、情報地図などで案内する。
- ・ 区域内に街頭用スピーカーが4台あり、緊急時にラジオ放送を流すことは可能である。

(2班)

- ・ 鉄道事業者には、震度基準があり、それによって運行の可否を判断するそうである。安全な運行ができると判断しないと駅構内に人を入れないそうである。
- ・ ビルに耐震性があっても、ガラスの飛散や落下などの危険性が考えられる。また、空調機の落下など買い物客等を館内にとどめることが危険なことも考えられる。そのような状況を考えると、ビルをいったん閉館して点検をしなければならない。そして、危険ではないことを判断した上で、ビル内に受け入れなければならない。特にテナントビルの場合、テナントの従業員は若い方が多いので（判断権限がなく）、ビルの設備担当者がビル全体の各階すべてを確認しないと、中に人を入れられないという話も出た。
- ・ 駅前の大型ビジョンでは、区と連携し、新宿御苑や一時滞在場所への誘導を4～5か国語で画像情報を使って提供しようとする取り組みを行っている。東口には3箇所ビジョンがあり、各ビジョンで新宿御苑が右方向なのか、左方向なのか、その程度のサインで誘導できるのではないかと考える。

(3班)

- ・ 放送設備は広く情報提供できるので、有効ではないか。ただし、最近増えている外国人への対応が課題である。外国人には、ビジョンを活用し、4か国語程度で対応できればよいのではないか。また、放送について自動翻訳のプログラムを使って案内したらどうか。
- ・ 店舗やコンビニで避難先の情報提供をしてもらえると助かる。事前に地図等を準備して配ってもらうような対応が有効ではないかと考える。

- ・新宿御苑にバルーンをあげ、そちらを目印に移動してもらえれば、有効ではないか。
- ・携帯電話が使いづらくなるなか、公衆電話は有効となるので、わかりやすいような工夫が必要となる。
- ・ワンセグ機能付き携帯は情報収集に有効なので、バッテリーを充電できる施設などがあると良いのではないか。
- ・雨が降ったらどうするか、そのあたりの取り決めが必要ではないか。
- ・野次馬が道を塞いだときの対応が課題である。

(4班)

- ・どのような人に避難してもらうのか。行き場のない人は誘導するが、館内の人はどうするか。雨・雪などの条件により、避難するか、館内に留めるのか店長等の判断によるのではないか。
- ・外国人への対応をどうするか大きな問題である。百貨店などは対応できるかもしれないが、対応できない店舗でどうするか。誘導先等を掲載した地図が必要ではないか。
- ・一時滞在場所については、受入施設の判断、受け入れられるような状態になるのかということやキャパシティが課題となる。
- ・キャパシティに制約があるので、どういう人を受け入れるのか。実際は若い人など滞在せずに外で災害対応に当たってほしい元気な人がSNSなどで情報を受け取って先に集まってしまう、本来受け入れるべき高齢者が後から来る。その際の対応をどうするか検討が必要である。
- ・「避難」という言葉が誤解を招いて、建物内に滞在可能であるにも関わらず外に出してしまうのではないか。表現に注意する必要がある。
- ・東日本大震災の際は、インフラが動いて問題なかったが、トイレが深刻な問題となるのではないか。

(5班・6班)

- ・新宿御苑までの案内は、商店街の放送設備などで案内したらよいのではないか。
- ・新宿東口には、たばこのポイ捨てや自転車の違法駐輪の指導員がまちのあちこちにいるので、そういう指導員を誘導員として、平時から指導した上で活用したらどうか。外国人の対応が課題となるという話もあったが、外国語の対応マニュアルを準備したらよいのではないか。
- ・デジタルサイネージ、Wi-Fi、スマホを活用して新宿御苑まで誘導する。
- ・事務所系の方がたくさんいるので、平時から民間事業者と行政が避難方法などについて協議・調整を行うなど情報交換を密にした方が良い。
- ・新宿御苑は、入口も限られ、多くの人が集中すると混乱するのではないか。花園神社やシネシティ広場を避難場所として活用するという方策も考えられる。
- ・新宿駅周辺地域では、現地本部は参集できる人で立ち上げるということであるが、あらかじめ誰がどのような判断で立ち上げるか決めておいた方が良いのではないか。

5 事務連絡

- ・分科会長から、東西分科会での検討結果を事務局でとりまとめる中で、必要に応じ、事業者ごとのワーキングや直接訪問しお話を伺うことをお願いするかもしれない旨とその際の協力依頼があった。

以上